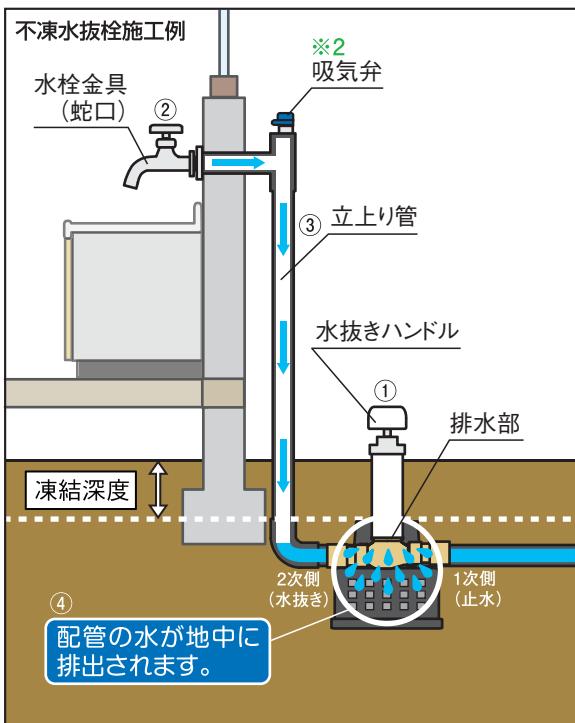


# 水抜きのしくみ

不凍栓は、水道の凍結を防止するために、立上り管や横走り管の手前に取り付け、水を凍結深度より深い地中に排出する器具です。

水抜きは、凍る原因となる“水”を水道管からなくす安全・確実な凍結防止方法です。

## ■不凍水抜栓の場合



## 不凍水抜栓の水抜きのしくみは、どうなってるの？

水抜きハンドル(①)を閉め、蛇口(②)を開けると、立上り管(③)に空気が入り、水が下に落ちていきます。凍結深度以下まで落ちた水は水抜栓(排水部)で排水(水抜き)されます(④)<sup>※1</sup>。

これにより、凍る可能性のある「凍結深度より上にある配管(立上り管)内の水」がなくなり、凍結を防ぐことができます。

※1 水抜栓は、水抜きハンドルを操作すると、1次側の水を止水し、同時に2次側の水だけを排水(水抜き)するものです。万が一、漏水が起きた場合にも止水栓として利用できるので、とても便利に使えます。

※2 吸気弁を設置しておくと、自動的に配管に空気が入るので、万が一、蛇口を開け忘れた場合にも安心です。

### ◎不凍水抜栓の操作方法

#### ■水抜き操作(凍結防止)

(1) 水抜きハンドルを“水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。

(2) 水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)

※水栓金具(蛇口等)は、固定コマ式(寒冷地仕様)をお使いください。  
(蛇口につきましてはP46をご参照ください。)

※シングルレバー混合栓の場合、レバーを中央位置にしてから開けてください。

!  
空気を吸入しないと水は抜けません。

(3) 水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

#### ■通水操作

!  
水栓金具(蛇口等)が閉じている事を確認する。

水抜きハンドルを“通水”方向(左回り)に止まるまで回します。

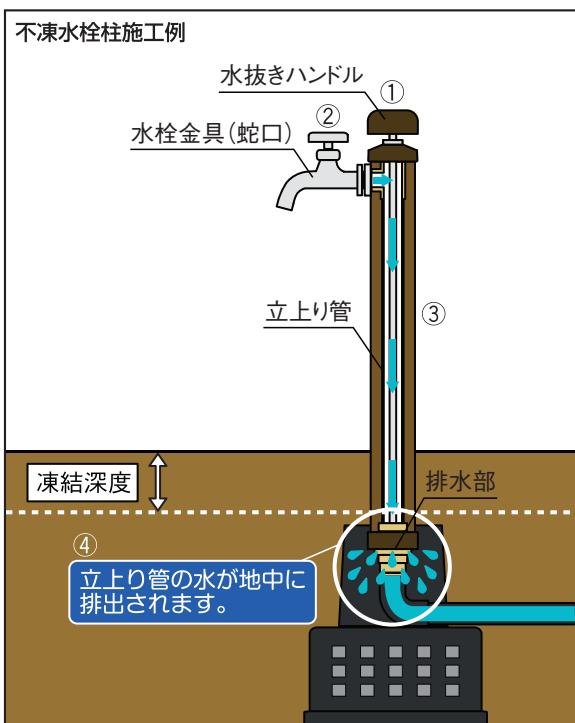
(通水状態になります)

※水栓金具(蛇口等)を操作してお使いください。

### 注意

通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります。

## ■不凍水栓柱の場合



## 不凍水栓柱の水抜きのしくみは、どうなってるの？

水抜きハンドル(①)を閉め、蛇口(②)を開けると、立上り管(③)に空気が入り、水が下に落ちていきます。凍結深度以下まで落ちた水は排水部で排水(水抜き)されます(④)。

これにより、凍る可能性のある「凍結深度より上にある配管(立上り管)内の水」がなくなり、凍結を防ぐことができます。

### ◎不凍水栓柱の操作方法

#### ■水抜き操作(凍結防止)

水抜き操作をする前に、必ずホースを水栓金具(蛇口等)からはずします。

(1) 水抜きハンドルを“水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。

(2) 水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)

※水栓金具(蛇口等)は、固定コマ式(寒冷地仕様)をお使いください。  
(蛇口につきましてはP46をご参照ください。)

!  
空気を吸入しないと水は抜けません。

(3) 水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

#### ■通水操作

水抜きハンドルを“通水”方向(左回り)に止まるまで回します。

(通水状態になります)

※水栓金具(蛇口等)を操作してお使いください。

### 注意

通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります。